

(様式8)

公共事業終了箇所評価調書

評価確定日(平成24年9月28日)

Table with 4 columns: 事業コード, 事業名, 事業種別, 路線名等, 箇所名, 政策コード, 施策コード, 指標コード, 区分, 国庫補助/県単独, 部局課室名, 班名, 担当課長名, 担当者名, 政策名, 施策名, 施策目標(指標)名.

1. 事業の概要

Main evaluation table with multiple rows and columns. Includes sections for: 事業の背景及び目的, 事業期間, 事業規模, 事業費内訳内容(千円)及び要因変化, 事業効果の要因変化及び発現状況, 指標達成率, 自然環境の変化, 社会経済情勢の変化, 事業終了後の問題点及び管理・利用状況.

住民満足度等の状況 (事業終了後)	①満足度を把握した対象 ● 受益者 ○ 一般県民 (時期:平成23年 7月及び平成24年 2月) ②満足度把握の方法 ● アンケート調査 ○ 各種委員会及び審議会 ○ ヒアリング ○ インターネット ○ その他の方法 (具体的に) ③満足度の状況 立体駐車場利用者から、「天候を気にせず出かけられる、空港ターミナルビルに近い」との評価が得られた。
上位計画での位置付け	ふるさと秋田元気創造プランにおける施策「広域ネットワークの充実と空港機能強化」を支援する事業
関連プロジェクト等	・羽田空港再拡張事業 ・主要地方道秋田御所野雄和線(秋田空港アクセス道路)整備事業
前回評価結果等	●選定または継続 ○改善 ○見直し ○保留又は中止
	①指摘事項 なし
	②指摘事項への対応 なし

2. 所管課の自己評価

観点	評価の内容(特記事項)	評価結果
有効性	①住民満足度の状況 ●A ○B ○C アンケート調査結果から、約5割の回答者から立体駐車場をよく使うという回答だった。さらによく使う利用者の約7割が非常に満足及び満足しているとの回答だった。	●A
	②事業の効果 ○A 達成率100%以上 ○B 達成率80%以上100%未満 ○C 達成率80%未満	○B
		○C
効率性	①事業の経済性の妥当性 ○A ○B ○C	○A
	②コスト縮減の状況 ○A 縮減率20%以上 ○B 縮減率20%未満 ●C 縮減なし 鋼材の価格高騰により事業費が約2割増となった。	○B
		●C
総合評価	○A (妥当性が高い) ●B (概ね妥当である) ○C (妥当性が低い) 繁忙期の駐車場容量不足の解消や冬期間の利便性の向上が図られており、立体駐車場利用者からのアンケート調査結果からも成果が認められることから、当事業は概ね妥当であると評価できる。	

3. 評価結果の同種事業への反映状況等(対応方針)

事業開始前の予備調査や設計段階での現場の把握や他事業との調整を行い、実施・詳細設計における適正な事業費の算出に努めるとともに、工法の工夫や廃材の再利用などコスト縮減に関しても積極的な取り組みをし、効率的な事業執行に努める。
当該施設では、アンケート結果において利便性向上に高い評価が得られていることから、同種の施設整備においては、施設利用者の意見をより一層反映した事業の実施に努める。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

○総合評価の判定基準

総合評価の区分	判定基準	総合評価
A (妥当性が高い)	全ての観点の評価結果が「A」判定の場合	B
B (概ね妥当である)	「A」判定、「C」判定以外の場合	
C (妥当性が低い)	全ての観点の評価結果が「C」判定の場合	